

9月20日(金)～21日(土)

am ワラビスポーツクラブにてマッチ練習

昼食後、2:00よりNAPLESに移動。果てしなく続く一直線の高速道路を140～160Km(この道では普通)で約2時間、両サイドは見渡す限り緑の湿原、これが2時間も続く。その間料金所は1カ所1ドル50セント、いっそう日本の高速料金にはらわたを煮え繰り返す。ネイプルは、大きな入り江の一番奥まったところに位置し、しっとりして落ち着いた港町で、あの可愛いらしいマナティが生息する。雨のためにpm5:00の試合が翌日に持ち越しとなり、可愛いホテル(のとなり)に宿泊。翌朝7:00からの開始にはちょっと参る。こちらは2時間くらい日の出が遅いので、まだ5:00くらいの暗さで照明付き、悠人と沙織が試合に入る。悠人も沙織も1Rは軽く突破、10:00に入る美咲と、梓が会場に来る。このTROPICAL JUNIOR CLASSICの会場になるCAMBIER PARK テニスクラブもすばらしくいいクラブ、写真をいっぱい取る。美咲は前日梓に負けたのが良かったと見えて気合の入りがまくりで深いボールのコントロールとアングルがすごくいい。いかに外人であれ今日の美咲には12歳で勝つのは難しい(と思っていた)。2Rなかなかの選手にも比較的簡単に勝つ。梓は、いきなりの第2シード。ラケットを忘れた(怒)ため、コーチのラケットを使うが爆裂サーブとリターンを随所で決め、6-0, 6-1と快勝、最後はすべてサーブアンドボレーをやる始末、これはひょっとすると・・・。しかし2R目の対戦相手を見てびっくり、梓がその選手の顎までしかない。しかも大学生といわれてもまったく違和感なしのすでに立派な大人の体、テニスもカプリアティとまったく同じで、梓のサーブをいともカンタンにノータッチエースで切り返す。足はやや遅いものの届いたボールを梓に対しノータッチエースの雨あられ。0-6, 1-6であつという間の敗戦。明日の美咲との対戦も美咲の奇跡を期待するしかない。あゆみは突然のフォアハンド不調、しかし何とかバックで打ったり、ネットに出たりと工夫し、一見勝っているような試合展開、フォアがいつもの調子なら勝てた相手だけに残念であつたが、ここまで目に見える工夫を彼女がするのは初めてなのでうれしくもあつた。悠人はこの大会思いのほか好調、14歳でも出られたのだが16歳の強敵勢の中で2R突破、新鮮な環境が以外に彼は好きかも? 2Rは6シードの強サーバーの黒人、ハウス前の観客多数のコートで小柄な悠人はその切れ味のいいショットで幾度も拍手を浴びる。1セットupで迎えた2セット両者痙攣をする激戦。びっこをひきながらの死闘は勇気を振り絞った悠人のフォアリターンエースで終止符を打つ。3Rはフロリダ16オランキング15位の強敵。サーブも早い、ショットも厚いあたりでこれは強い! 正直いつもの悠人なら取れて2ゲームと思っていた、しかも3セット3試合め、しかしこの大会の彼は違っていた。鋭いショットで切り返し、相手にプレッシャーをかけていく。4-6, 5-7と負けはしたが過去の悠人ではない新しい彼をみた。沙織2Rは、本日の最終マッチ相手はエスニック系のファイター、沙織も対抗してファイターと化し、そのため彼女のよさがすべて出る。昨日までのボロボロが嘘のよう、面白いように決まるショットがエスニカン・ファイターを最後に黙らせる。明日はダブルスもありとっても楽しみ!